

令和3年度
教育に関する事務の管理及び
執行の点検及び評価報告書
(令和2年度の事務対象)

令和3年10月
佐渡市教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価について

1 点検及び評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の規定により、教育委員会は毎年度、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

本報告書は、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たし、市民から信頼される教育行政を目指すため、令和2年度の佐渡市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、報告するものです。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の方法

（1）点検及び評価の対象

点検及び評価は、佐渡市教育委員会が執行している事務・事業のうち、令和2年9月に策定した「佐渡市教育大綱及び佐渡市教育振興基本計画」に掲げられている、「6つの基本目標を達成するための18の施策」の項目について行いました。

なお、その項目に属する事業について、事業の評価票を作成し、（目標（成果）指標、目標値、実績値、成果（評価）、課題と対策、今後の方向性を記入）自己評価を実施しました。

(2) 点検及び評価の手順

次の手順で点検及び評価を行いました。

教育委員会事務局による点検・評価の実施

事務点検評価者による点検・評価の実施

教育委員会において点検・評価報告書の決定

市議会への報告及び公表

(3) 自己評価ランク

【A】 目標を上回る成果に達したもの(100%以上)

【B】 ほぼ目標どおり (80%以上～100%未満)

【C】 目標の成果に達しなかったもの(80%未満)

3 学識経験を有する者の知見の活用

点検・評価を実施するに当たり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第2項の規定による知見の活用を図るため、選任した学識経験者2人から教育委員会事務局が行った点検・評価(自己評価)について、外部評価を受けるという形で実施しました。

佐渡市教育委員会 事務点検評価者(令和3年度)

氏名	経歴等
児玉 功	元佐渡市社会教育委員 委員長
和田 大二	元佐渡市立両津中学校長

目 次

1	教育委員会の活動状況について	1
	教育委員会会議の開催状況	1
	教育委員会会議以外の活動状況	4
2	教育委員会の事務の管理及び執行の状況	5
	総合教育センター事業（学校教育課）	5
	総合教育センター事業（学校教育課）	7
	自校給食・給食センター管理運営事業（学校教育課）	8
	特別支援教育推進事業（学校教育課）	10
	総合教育センター事業（学校教育課）	12
	総合学習支援事業（学校教育課）	13
	国際教育ALT事業（学校教育課）	15
	IT設備整備事業（学校教育課）	16
	学校耐震補強事業（教育総務課）	17
	地域ぐるみの学校安全体制整備促進事業（学校教育課）	18
	心の教育支援事業（学校教育課）	19
	総合教育センター事業（学校教育課）	21
	グローバル人材育成事業（学校教育課）	23
	生涯学習事業（社会教育課）	25
	公民館活動推進事業（社会教育課）	27
	スポーツ推進事業（社会教育課）	28
	読書推進事業（社会教育課）	29
	博物館・資料館管理運営事業（社会教育課）	31
	世界遺産登録推進事業（世界遺産推進課）	33
	ジオパーク推進事業（社会教育課）	35

⑳	埋蔵文化財調査保存事業（世界遺産推進課）	37
㉑	有形文化財保存活用事業（世界遺産推進課）	38
㉒	芸術事業（社会教育課）	39
㉓	青少年育成活動事業（社会教育課）	41
㉔	学校教育振興事業（学校教育課・社会教育課）	43
㉕	学校・家庭・地域の連携促進事業（社会教育課）	44
㉖	児童援助事業・生徒援助事業（学校教育課）	46

参考：評価	施策実施上注目すべき数値の一覧	47
-------	-----------------	----

3	総評	49
---	----	----

1 教育委員会の活動状況について

教育委員会会議の開催状況

定例会（12回） 臨時会（4回）

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
令和2年第5回 定例会 (R2.4.27)	議案第33号 議案第34号 議案第35号 議案第36号 議案第37号 議案第38号 議案第39号 議案第40号 議案第41号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4	佐渡市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市社会教育委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市公民館運営審議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市地区公民館長の委嘱に係る専決処理について 佐渡市地区公民館分館長の委嘱に係る専決処理について 佐渡市スポーツ推進委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市図書館協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市宿根木地区歴史的景観審議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の懲戒処分に係る専決処理について 学校情報について (仮称)相川認定こども園の建設について 世界遺産登録に係る推薦書(原案)について 佐渡市奨学金貸与条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
令和2年第6回 臨時会 (R2.5.8)	報告事項1	佐渡地区における義務教育諸学校教科用図書の採択等について
令和2年第7回 定例会 (R2.5.26)	議案第42号 議案第43号 議案第44号 議案第45号 報告事項1 報告事項2	佐渡市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱について 佐渡市スポーツ推進審議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の懲戒処分について 学校情報について 佐渡文化財団の施策の柱と実施事業について
令和2年第8回 定例会 (R2.6.29)	議案第46号 議案第47号 議案第48号 議案第49号 議案第50号 議案第51号 議案第52号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4	佐渡市新たな学校教育環境整備検討懇談会開催要綱の制定について 佐渡市立学校管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定に係る専決処理について 佐渡市佐渡ことば・こころの教室判定会議開催要綱の一部を改正する告示の制定について 佐渡市佐渡ことば・こころの教室運営会議開催要綱の一部を改正する告示の制定について 一般財団法人佐渡文化財団に関する検討会開催要綱の制定について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱について 佐渡市いじめ防止対策等に関する委員会委員の委嘱に係る専決処理について 学校情報について 県立高校等再編整備計画について 佐渡市立図書館ビジョン事業実施計画について 佐渡文化財団について

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
令和2年第9回 臨時会 （R2.7.20）	議案第53号	令和3年度・令和4年度・令和5年度・令和6年度 佐渡地区中学校教科用図書の採択について
令和2年第10回 定例会 （R2.7.29）	議案第54号 議案第55号 議案第56号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4	佐渡市学校事務共同実施推進協議会開催要綱の一部を改正する告示の制定について 佐渡市スポーツ推進審議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の人事異動について 学校情報について 佐渡市新たな学校教育環境整備検討懇談会について 社会体育施設の指定管理者の指定について 佐渡市スポーツ推進計画（案）について
令和2年第11回 定例会 （R2.8.26）	議案第57号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 協議事項1	佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について 学校情報について 相川地区認定こども園整備の進捗状況について 学校教育環境整備に関する保護者アンケートについて 佐渡市教育大綱及び佐渡市教育振興基本計画の策定について
令和2年第12回 定例会 （R2.9.30）	議案第58号 議案第59号 報告事項1	教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について 佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について 学校情報について
令和2年第13回 定例会 （R2.10.23）	議案第60号 議案第61号 報告事項1 報告事項2	公の施設に係る指定管理者の指定について（佐渡市総合体育館、佐和田テニスコート、佐和田野球場） 佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について 学校情報について 第2回新たな学校教育環境整備検討懇談会について
令和2年第14回 定例会 （R2.11.26）	議案第62号 報告事項1 報告事項2 報告事項3	佐渡市指定文化財の名称変更について 佐渡市文化財指定又は選定候補物件等について 学校情報について 佐渡市総合体育館のネーミングライツパートナー募集について
令和2年第15回 定例会 （R2.12.24）	議案第63号 議案第64号 議案第65号 議案第66号 報告事項1 報告事項2 報告事項3	佐渡市文化財保護審議会への諮問について 佐渡市学校運営協議会委員の辞任について 佐渡市教育委員会職員の人事異動について 佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について 学校情報について 佐渡市立中学校修学旅行キャンセル料等補助金について 佐渡文化財団について
令和3年第1回 定例会 （R3.1.26）	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号	佐渡市立学校管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市両津文化会館条例を廃止する条例の制定について 佐渡市両津文化会館条例施行規則を廃止する規則の制定について 佐渡市公民館及び佐渡市両津文化会館防火規程を廃止する訓令の制定について 佐渡市社会教育委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市公民館運営審議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市地区公民館分館長の委嘱に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の懲戒処分等に係る専決処理について

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
令和3年第1回 定例会 （R3.1.26）	議案第9号 報告事項1 報告事項2 報告事項3	佐渡市教育委員会職員の人事異動に係る専決処理について 学校情報について 年度末の学校行事について 第3回佐渡市新たな学校教育環境整備検討懇談会について
令和3年第2回 臨時会 （R3.2.15）	協議事項	令和3年度教育行政方針について
令和3年第3回 定例会 （R3.2.26）	議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 議案第16号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4	佐渡市教育文化振興基金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市宿根木地区歴史的景観審議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市地区公民館分館長の委嘱に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の懲戒処分等に係る専決処理について 教職員の人事異動内申について 学校情報について 損害賠償の額を定めることに係る専決処分について 令和3年度当初予算概要（教育委員会）について 補助金交付要綱改定の経過報告について
令和3年第4回 臨時会 （R3.3.7）	議案第17号 報告事項1	佐渡市教育委員会教育長の辞職の同意について 佐渡文化財団について
令和3年第5回 定例会 （R3.3.19）	議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号 議案第26号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4 報告事項5	佐渡市スポーツ推進計画の策定について 佐渡ことば・こころの教室親の会支援事業補助金交付要綱を廃止する告示の制定について 佐渡市学校米飯給食費等補助金交付要綱を廃止する告示の制定について 佐渡市特別支援学校児童生徒就学援助補助金支給要綱を廃止する告示の制定について 佐渡市スポーツ推進事業補助金交付要綱を廃止する告示の制定について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱について 学校歯科医の委嘱について 佐渡市地区公民館分館長の委嘱に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の人事異動について 学校情報について 令和3年度佐渡市学校教育の重点について 加茂小学校長寿命化整備に係る建設検討委員会について 押印の義務付け廃止の状況について 佐渡市立図書館ビジョン事業実施計画評価（令和元年度）について

教育委員会会議以外の活動状況
総合教育会議

回（開催日）	会 場	議 題
令和2年度第1回 （R2.11.9）	佐渡市役所 3階 大会議室	1 佐渡市奨学金について 2 佐渡市新たな学校教育環境整備計画について
令和2年度第2回 （R3.2.9）	佐渡市役所会議室棟 1階 第2会議室	1 佐渡市新たな学校教育環境整備計画について

勉強会（学習会）

開催日	会 場	議 題
（R2.7.29）	佐渡島開発総合センター 2階 第3会議室	1 教育に関する事務の管理及び執行の点検及び 評価報告書について
（R2.9.30）	佐渡島開発総合センター 2階 第3会議室	1 佐渡市奨学金について
（R2.12.24）	佐渡島開発総合センター 2階 第3会議室	1 佐渡市生涯学習推進計画について

会議

審議報告日	会議名等
（R2.9.8）	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会（書面開催）
（R2.9.15）	新潟県市町村教育委員会連合会定期総会（書面開催）

その他事業等への参加

開催日	会議名等
（R2.4.1）	辞令交付式
（R2.6.5）	令和3年度以降使用教科用図書採択に係る選定委員・調査員会
（R2.11.17） （R2.11.18） （R2.11.20）	今後の小・中学校の教育環境整備と再編 地域座談会

2 教育委員会の事務の管理及び執行の状況

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合教育センター事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策1 学ぶ意欲を高め確かな学力を育成する教育】					
事業概要	教育センター主催研修等、教員の研修講座を開催し、学力の向上と家庭学習習慣の定着を図る。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	教職員の指導力向上により、児童生徒に確かな学力をつけ、夢と誇りをもって自立する人づくりを目指す。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との差（小・中）		%	小+0.3 中-2.4	小+0.5 中±0	- (中止)	小+1 中±0
算式	平均正答率の全国との差					
標準学力検査NRTで偏差値50以上の教科の割合（小・中）		%	小100 中47	小90 中60	小84 【B】 中62 【A】	小90 中60
算式	偏差値50を上回った教科数 / 実施教科数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	全国学力・学習状況調査（小・中学校）			小50 中33	小50 中50	- (中止)	- -
	指標	「全国学力・学習状況調査」で全国平均以上の教科数の割合（小・中）					
2	標準学力検査NRT（小・中学校）			34 59	100 100	50 62	- -
	指標	偏差値53以上（小学校2教科）の割合 偏差値50以上（中学校5教科）の割合					
3	家庭学習習慣の確立（全国学調の質問紙回答状況）			69.9 53.7	70 70	- (中止)	- -
	指標	1時間以上70%（小学校） 1時間以上70%（中学校）					
4	総合教育センター事業			12 (451人)	12 (450人)	9 (356人)	12 (450人)
	指標	センター主催研修会実施回数					

C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	全国学力・学習状況調査（小・中学校） 小学校【 - 】 中学校【 - 】	【成果】 2年度は中止 【課題と対策】 目標と同じであるため、令和3年度は細事業として評価を行わない。学校支援訪問における各校への指導を細事業として評価項目とする。
2	標準学力検査NRT（小・中学校） 小学校【 C 】 中学校【 C 】	【成果】 小学校では偏差値53を上回る教科、学校が、中学校では偏差値50を上回る教科、学校が増えた。取組の成果である。 【課題と対策】 目標と同じであるため、令和3年度は細事業として評価を行わない。枝番1の事業と合わせ、学校支援訪問における各校への指導を細事業として評価項目とする。
3	家庭学習習慣の確立（全国学調の質問紙回答状況） 小学校【 - 】 中学校【 - 】	【成果】 全国学力調査は未実施。各学校での調査では、小学校で「学年×10分」の達成率は概ね70%であった。また、中学校での定期テスト直前では1日平均135分で、テスト前以外は平均58分であった。 【課題と対策】 教育委員会としての取組ではないため、令和3年度は細事業として評価を行わない。校長会と連携した学力向上の取組の実施について評価を行う。
4	総合教育センター事業 【 C 】	【成果】 年度前半はコロナウイルス感染拡大防止対策のため、研修会の実施を見合わせた。8月以降の研修は感染予防対策を実施して開催が可能となり、9事業実施し、356人の参加があった。 【課題と対策】 計画した研修を確実に実施できるように感染予防対策を徹底する。また、オンライン環境も活用し、研修の効率化を図る。

A c t i o n	今後の事務事業の方向性
<p>学力向上の取組である「授業改善」「補充学習の充実」「家庭学習習慣の確立」において、各学校での取組・定着の差を減らすために、学校支援訪問を充実させ、細事業の指標として「学校支援訪問の肯定的評価」を設け、令和3年度の目標値を80%とする。また、校長会と佐渡市教育委員会との連携を強化し、細事業の指標「校長会との連携会議の開催回数」を設け、令和3年度目標値を3回とする。</p> <p>また、新学習指導要領全面実施において、各学校における授業改善が推進されるよう、研修講座を企画・運営していく。</p>	

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合教育センター事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策2 豊かな心、倫理観、規範意識をはぐくむ道德教育】					
事業概要	教育センター主催研修講座等、教員の研修講座を開催する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	児童生徒に確かな学力をつけ、夢と誇りをもって自立する人づくりを目指す。					
事務事業の目標（成果）指標						
算式	指標の算式	単位	元年度 実績値	2年度（評価年度） 目標値	実績値	3年度 目標値
すべての学級で道德の授業を公開している割合（小・中）		%	100	100	100	100
算式	実施校数 / 市内小中学校数				【A】	
人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合（小・中）		%	100	100	86	100
算式	実施校数 / 市内小中学校数				【B】	

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	道德教育推進事業			100	100	100	-
	指標	すべての学級で道德の授業を保護者や地域に公開している割合（小・中）	%				
2	人権教育、同和教育推進事業			100	100	86	-
	指標	人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合（小・中）	%				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	道德教育推進事業	【成果】 道德教育推進教師を対象とした研修講座を通し、道德の教科化に対する家庭、地域の理解や連携の必要性について各校に理解浸透できた。 【課題と対策】 目標と同じであるため、令和3年度は細事業として評価を行わない。総合教育センター講座を細事業として評価をする。				
	【A】					
2	人権教育、同和教育推進事業	【成果】 すべての学校で年2回以上の人権教育、同和教育に関する研修会を実施した。人権教育強調週間等においては、「生きる～」等を活用した公開授業や指導案づくりを実施した。 【課題と対策】 目標と同じであるため、令和3年度は細事業として評価を行わない。総合教育センター講座を細事業として評価をする。いじめの未然防止、即時対応策として、道德の授業を効果的に活用していく。				
	【B】					

Action	今後の事務事業の方向性				
<p>道德については、今後も指導法や家庭、地域との連携の在り方について研修を継続していく。今後も各種研修の内容の充実と実施時期の検討により、教職員が参加しやすい時期に、特別の教科道德としての授業改善に役立つ研修を推進する。細事業として総合教育センターの「道德教育研修講座」「人権教育、同和教育研修講座」の肯定的評価を指標とし、それぞれ70%を目標値とする。</p>					

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	自校給食・給食センター管理運営事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策3 健康でたくましい心身をはぐくむ教育】					
事業概要	自校方式1校、学校給食センター7施設で、地産地消を推進し、安全・安心な学校給食を提供する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	地場産物の使用拡大を目指し、学校給食を生きた食材の教材とし、生産者等への感謝の気持ちを育み、郷土を愛する気持ちを養う。					
目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
学校給食における地産地消の献立の実施状況（小・中）		%	22	30	20	30
算式	実績値 = 佐渡産野菜使用率 + 水産物使用率の平均					
栄養教諭・学校栄養職員が参画した食に関する授業を実施している割合（小・中）		%	74	90	71	90
算式	実施校数 / 市内小中学校数					

Do	事務事業の目標（成果）指標						
枝番	事務事業を構成する主な細事業			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	米以外の地場産食材使用事業			野菜	野菜	野菜	野菜
	指標	米以外の地場産食材年間使用量の割合（野菜、水産物）	%	21 水産物 23	30 水産物 30	17 水産物 22	30 水産物 30
2	食育指導案集作成			-	100	100	-
	指標	進捗率	%				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	米以外の地場産食材使用事業 【C】	<p>【成果】</p> <p>各学校給食調理場には佐渡産野菜の旬が分かる表を配布して、旬の時期に旬の野菜を積極的に献立に入れるように協力を依頼した。地元青果については、各学校給食調理場からの野菜の発注に関して優先的に佐渡産を納品するよう協力を依頼し、調理場及び地元青果それぞれから理解を得た。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>昨年に引き続き、島内での流通面が課題である。令和2年度に運用が開始されたECサイト「さどまるしえ」の学校給食での利用には至っていないが、令和3年度中には給食調理場でも利用できるよう農業政策課、農林水産課と調整を進めていく。</p>

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	食育指導案集作成 【A】	<p>【成果】 佐渡市の課題を解決するため、小学校から中学校まで一貫して取り組む指導案集を作成した。</p> <p>【課題と対策】 令和3年度から栄養教諭、学校栄養職員と連携し、学校の食育指導を行う機会に活用するものができた。今年度は可能な範囲で取り入れ、評価については、アンケートにての実施の有無を把握する。</p>

Action	今後の事務事業の方向性
	<p>令和2年度は、キャベツや玉ねぎが不作により、使用量が減少した。 上記の成果内容が、どれほど使用率上昇につながるか動向を注視していく。 また、生産者や農業政策課、農林水産課とも引き続き協議を進め、地産地消率向上に努める。</p>

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	特別支援教育推進事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策4 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育】					
事業概要	障がいに応じた適切な教育を行うため、学校における日常生活の介助や障がいに応じて学習活動のサポートを行う介助員を配置する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	幼児児童生徒それぞれの教育的ニーズを把握し、適切かつ必要な支援体制の整備に努める。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
基準に基づく介助員の配置割合（小・中）		%	100	100	100 【A】	100
算式	配置人数 / 配置希望人数					
「個別の教育支援計画」を作成・活用している割合（小・中）		%	100	100	100 【A】	100
算式	作成・活用人数 / 作成必要人数					

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	介助員配置事業			100	100	100	-
	指標	基準に基づく介助員の配置割合（小・中）	%				
2	特別支援教育推進事業			100	100	100	-
	指標	「個別の教育支援計画」を作成・活用している割合（小・中）	%				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	介助員配置事業 【A】	<p>【成果】 市教委が各学校に実施した「個別の支援が必要な児童生等の状況調査」を基に、配当予算内で支援の必要な児童生徒在籍校へ優先的な配置を実施した。</p> <p>【課題と対策】 目標と同じであるため、令和3年度は細事業として評価を行わない。半期ごとの介助員意向調査を細事業として評価をする。 各校からの介助員配置の要望はさらに増加している。「佐渡市小・中学校介助員配置基準」に則り、適正な配置に努める。 また、多様化するニーズに対応するため、教員免許状等の有資格者等優秀な人材の確保や、適切な対応・支援のため資質向上研修の充実に努める。</p>				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	特別支援教育推進事業 【A】	<p>【成果】 「個別の教育支援計画」を作成した。</p> <p>【課題と対策】 目標と同じであるため、令和3年度は細事業として評価を行わない。支援訪問における指導を細事業として評価をする。 増加する支援の必要な児童生徒一人一人の障がいの状況等に応じ、合理的配慮(障がい者が必要とする支援)に留意して作成した「個別の教育支援計画」等を有効活用して、学校・保護者・関係機関と連携し、信頼関係・合意形成の構築に努める必要がある。</p>

Action	今後の事務事業の方向性
	<p>「個別の教育支援計画」等の作成は今年度も目標値を達成できた。発達障がいを含む障がいのある全ての児童生徒の合理的配慮に留意して作成した「個別の教育支援計画」等の活用状況について学校支援訪問時に確認していく。</p> <p>また、「個別の教育支援計画」等の作成・活用を通して保護者と連携し、ともに児童生徒を見守るシステムを構築する。</p> <p>令和3年度は細事業として、「介助員意識調査の実施回数」を指標とし、目標値を2回とする。また、「個別の教育支援計画に係る指導の実施校数」を指標とし、目標値を全学校35校とする。</p>

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合教育センター事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策5 人間性や社会性の基礎を身に付ける幼児教育】					
事業概要	教育センター主催研修等、教員の研修講座を開催する。					
対象	教職員、幼児、児童					
意図（目標）	幼稚園、小学校教員の合同研修により互いの教育活動や目指す姿を共有することで、幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を目指す。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
保育園・幼稚園との教育活動の交流を行っている割合（保幼・小）		%	100	100	73 【C】	100
算式	実施小学校数 / 市小学校数					

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	保・幼・小連携推進事業			100	100	73	-
	指標	保育園・幼稚園との教育活動の交流を行っている割合（保幼・小）	%				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	保・幼・小連携推進事業 【C】	<p>【成果】 コロナウイルス感染拡大防止のため、体験入学時における交流活動を中止する学校があった。しかし、地区によっては隣接する園と小学校で定期的に情報交換会を設け、園児、児童の情報交換を行っていた。</p> <p>【課題と対策】 目標と同じであるため、令和3年度は細事業として評価を行わない。学校支援訪問・校長会における各校への指導を細事業として評価項目とする。</p>				

Action	今後の事務事業の方向性				
<p>幼稚園教育要領、小学校学習指導要領改訂のポイントとして重要視されている幼小の円滑な接続を図るため、交流活動の意義や在り方について学校支援訪問、校長会を通じて指導、支援を継続する。小学校への接続を見通した教育課程を保育者と小学校教員が協働して編成・実施する必要がある。定期的な情報交換等を促し教育課程の編成等を見直し・改善を図っていく。令和3年度は、全小学校への指導を細事業として設定する。</p>					

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合学習支援事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策6 佐渡を知り、愛し、誇りとするキャリア教育】					
事業概要	将来、佐渡に貢献できる人材を育成するため、小中学校において、郷土を愛し、夢と誇りを持ち、職業観を育むキャリア教育を推進する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・「佐渡学」を中核とした体験的な郷土学習への取組について指導、支援する。 ・中学校における職場体験活動を充実させるため、課題解決学習を取り入れた指導への支援と受入企業の拡充を進める。 					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
課題解決学習を取り入れた職場体験活動を実施している割合（中）		%	100	100	100 【A】	100
算式	実施中学校 / 全中学校					
「みらい'sノート」を活用したキャリア教育を実施している割合（小）		%	91	100	100 【A】	100
算式	実施小学校 / 全小学校					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	職場体験に向けての事業所との合同準備会の実施 （中学校）			100	100	100	100
	指標	実施中学校 / 全中学校	%				
2	小学5・6年生用キャリア教育副読本「みらい'sノート」活用 （小学校）			91	100	100	-
	指標	活用小学校 / 全小学校	%				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	職場体験に向けての事業所との合同準備会の実施 【A】	<p>【成果】 課題解決型職場体験を推進するため事業所と学校の合同準備会を行い、全ての中学校で課題解決型職場体験を実施することができた。</p> <p>【課題と対策】 全ての中学校で持続可能な活動になるように、今後、事業所開拓や研修会の開催などの支援を継続していく。</p>

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	小学5・6年生用キャリア教育副読本「みらい'sノート」活用 【A】	【成果】 小学校5・6年生を中心に「みらい'sノート」を活用し、キャリア教育を推進できた。 【課題と対策】 目標と同じであるため、令和3年度は細事業として評価を行わない。支援訪問における指導を細事業として評価をする。「わたしをかんガエルノート」を有効活用するために、指導計画に位置付けられていない学校へは、支援訪問の際に、指導計画に確実に位置付け、計画的に活用するよう支援していく。

Action	今後の事務事業の方向性
	<p>「課題解決型職場体験」を佐渡市の職場体験として定着させるため、関係各課、企業と連携して事業を進める。</p> <p>「わたしをかんガエルノート」等を含めたキャリア・パスポートを整備し、全ての小学校と中学校で取組を進められるように支援する。「わたしをかんガエルノート」等を有効活用するために、指導計画に位置付けられていない学校へは、支援訪問の際に、指導計画に確実に位置付け、計画的に活用するよう支援し、細事業として全35校の実施を目標値とする。</p>

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	国際教育ALT事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策7 世界と共生する人材を育成する教育】					
事業概要	英語を母国語とするALT（外国語指導助手）を任用し、小中学校に派遣して、コミュニケーション能力の育成と異文化交流を行い、国際教育を推進する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	小学校へ外国語教育が本格的に導入されることを踏まえ、小・中連携を意識した英語指導法研修を進めるとともに、コミュニケーション能力の育成や国際理解教育の充実に努める。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
小・中の英語教育の円滑な接続のための研修や交流を実施している割合		%	100	100	100 【A】	100
算式	実施中学校区数 / 市中学校区数					

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	国際教育ALT事業			100 (1)	100 (2)	100 (1)	100 (2)
	指標	外国語指導助手の小・中接続のための研修・交流への参加率（実施回数）	% (回)				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	国際教育ALT事業 【A】	<p>【成果】 9月までALT8名で、全ての小中学校で1週間当たり1日以上の巡回指導をした。10月以降は4人体制となり各校の巡回数が減少した。小・中接続のための研修・交流へは、4名のALT全員が1回参加した。（1月実施）</p> <p>【課題と対策】 小学校外国語を充実させていくために、ALTの研修会を実施する。</p>				

Action	今後の事務事業の方向性				
総合教育センター事業における、外国語の「聞く」「話す」「読む」「書く」活動の充実を図る研修会にALTも参加し、小中接続について生かしていく。					

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	I T設備整備事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策7 世界と共生する人材を育成する教育】					
事業概要	電子黒板等のI C T機器導入を計画的に進める。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	I C T機器の導入、活用により、情報化社会に的確に対応できる人材を育成するとともに、すべての児童生徒に分かりやすい授業を提供し学力向上を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
I C Tの効果的な活用に関する授業研修を行っている割合（小・中）		%	54	100	74 【C】	100
算式	実施校数 / 市内小中学校数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	電子黒板等I C T機器設置事業			54	100	100	-
	指標	設置校数 / 市内小中学校数	%				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価						
枝番	細事業名	成果及び課題と対策					
1	電子黒板等I C T機器設置事業 【A】	<p>【成果】 今年度、18校（小学校12校、中学校6校）に電子黒板等のI C T機器を設置した。前年度までと合わせ市内35校すべてに設置済みである。 また、無線LAN等の環境整備、市内一人一台端末の整備も完了した。</p> <p>【課題と対策】 一人一台端末の整備に伴い、研修の充実が重要となるため、令和3年度は細事業として評価を行わない。I C T支援員の配置を細事業として評価をする。</p>					

Action	今後の事務事業の方向性					
佐渡市小中学校における1人1台端末活用のための教職員への研修の実施や、機器のトラブル対応等、学校をサポートする人材の確保に努めていく。I C T支援員訪問回数を700回として目標値を設定する。また、I C Tに関わる保護者への啓発活動を進める。						

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	教育総務課			
事務事業名	学校耐震補強事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	3 安全・安心な学校づくり 【施策8 安全な学校環境づくり】					
事業概要	市立小中学校の耐震化					
対象	市立小中学校における校舎棟、体育館棟					
意図（目標）	耐震性能の向上を図り、今後予想される地震災害に対して児童・生徒・教員等の生命を守るとともに市有行政財産の強化を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
小中学校の耐震化率		%	99	100	100 【A】	100
算式	非木造 耐震化済み施設数 / 全体施設数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	小学校耐震補強事業			98	100	100	100
	指標	小学校の耐震化率	%				
2	中学校耐震補強事業			100	100	100	100
	指標	中学校の耐震化率	%				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	小学校耐震補強事業 【A】	【成果】 八幡小学校体育館棟の耐震補強工事を実施した。 【課題と対策】				
2	中学校耐震補強事業 【-】	【成果】 耐震化完了 【課題と対策】				

Action	今後の事務事業の方向性
八幡小学校体育館棟の耐震補強工事が完了したことにより、小中学校対象施設における耐震化100%の目標を達成した。	

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備促進事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	3 安全・安心な学校づくり 【施策8 安全な学校環境づくり】					
事業概要	・佐渡市子ども安全応援隊員（スクールガード・リーダー）の依頼 ・佐渡市子ども安全応援隊員による通学路の見回り（8時間/月）					
対象	児童					
意図（目標）	児童が安心して登下校できる環境づくりを行う。					
事務事業の目標（成果）指標						
算式	指標の算式	単位	元年度 実績値	2年度（評価年度） 目標値 実績値		3年度 目標値
通学路点検の実施割合（小・中）		%	100	100	100 【A】	100
算式	実施校数 / 市内小中学校数					
防災教育の実施割合（小・中）		%	89	100	100 【A】	100
算式	実施校数 / 市内小中学校数					

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度） 目標値 実績値		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業			12	15	12	15
	指標	リーダー数	人				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 【B】	【成果】 通学路巡回による危険箇所の把握と学校への報告、防犯に効果があった。 【課題と対策】 スクールガードリーダーの確保が難しく、配置できない地区が3地区あったことから、人員確保のために学校運営協議会等と連携し、地域住民への理解と協力を得て募集を行っていく。				

Action	今後の事務事業の方向性				
<p>他の防犯や交通安全に関する団体との連携強化、地域住民の理解による協力を高め、地域全体で見守り、安全を確保する体制の構築と意識の醸成を図る。</p> <p>また、学校運営協議会を通じて「ながら見守り活動」等の導入を検討し、見守りの目を増やしていく。</p> <p>各学校への防災教育及び危機管理マニュアルの見直しについて指導を、年2回実施することを目標とする。</p>					

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	心の教育支援事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	3 安全・安心な学校づくり 【施策9 安心して学べる学校づくり】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 心の教室相談員事業（小学校1校、中学校5校に相談員を配置） 不登校児童生徒訪問指導事業（不登校児童生徒の家庭を訪問） 適応指導教室運営事業（あすなる教室の運営、いじめ不登校電話相談） 					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 「佐渡市いじめ防止基本法」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、即時対応を図るための体制づくりを支援する。 不登校児童生徒への的確な対応を進めるため、新潟県が示す「子どもとともに1・2・3運動」佐渡市共通の「心の健康チェック」の活用を徹底するとともに、適応指導教室や訪問相談員との連携を進める。 					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
いじめの解消率（小・中）		%	88	100	94 【B】	100
算式	いじめ解消数 / いじめ発生数					
不登校児童生徒の割合（小・中）		%	小0.74 中4.78	小0.70 中3.65	小0.98 【C】 中4.45 【B】	小0.8 中4.0
算式	不登校児童生徒数 / 児童生徒数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	「心の教室相談員」事業			843	600	1,066	800
	指標	相談員1名当たりの相談生徒延べ人数	人				
2	「不登校児童生徒訪問指導」事業 「適応指導教室」運営事業			84.1	60.0	42.2	60.0
	指標	欠席日数減少者数 / 前年度不登校者数	%				
3	「心の健康チェック」推進支援事業			0.72	0.70	0.98	0.80
	指標	新規不登校者数 / 児童生徒数	%				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	「心の教室相談員」事業 【A】	<p>【成果】 いじめの早期発見、孤立しそうな子どもの心の居場所として大きな効果があった。新たに配置した小学校でも効果が確認できた。</p> <p>【課題と対策】 相談員と学校の一層の情報共有で、即時対応に結びつける。 相談員の配置校については、毎年度適切に見直しを図り、学校の実態に応じたものとする。</p>

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	「不登校児童生徒訪問指導」事業 「適応指導教室」運営事業 【C】	【成果】 不登校訪問指導員や適応指導教室等での児童生徒や保護者への支援を積極的に行った学校では、不登校者の学校復帰や欠席日数の減少に効果が見られた。 【課題と対策】 小学校での新規不登校の増加が見られ、該当者へ不登校訪問指導員や適応指導教室の利用を働きかけても、本人や保護者の理解が得られず、活用されにくい状況がみられた。不登校の傾向が、見られる段階で（登校を渋る状態、校内適応指導教への登校の状態）で積極的な活用を促していく。
3	「心の健康チェック」推進支援事業 【C】	【成果】 「心の健康チェック」アンケートを毎月適切に実施して結果を活用している学校では、きめ細やかな対応が可能となり、児童生徒の内面や人間関係の把握に活用され、登校しぶりの予防や改善に、ある程度の効果が見られた。 【課題と対策】 アンケートの実施は、ほぼ対象の学校で実施できているが、活用は、学校間に差が見られる。不登校の要因となっているものをできるだけ詳細に把握するために他の教育相談体制と組み合わせて「心の健康チェック」の適切な活用を図る。

Action	今後の事務事業の方向性
	<p>児童生徒の心の変化を継続的に調査する「心の健康チェック」の一層の活用を図る。その累積されたデータをもとに各学校での適切な指導に生かせるよう支援していく。</p> <p>小さいいじめも見逃さない意識を学校職員全体がもち、いじめの報告や相談件数も増加しているので情報共有をしながら対応できるよう支援していく。いじめの解消・不登校の発生防止のために積極的な「心の教室相談員」や「不登校訪問指導員」「適応指導教室」の活用を推進する。</p>

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合教育センター事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	4 高等教育・研究機関等との連携の強化 【施策10 大学や研究機関を活用した教育】					
事業概要	教員の研修講座を開催する。（基本研修、課題別研修、自主研修他）					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 大学や研究機関と連携し、その関連施設や職員を活用した教育活動例について小中学校等に提案する。 ICT等のシステムを活用し、遠隔地の大学や研究機関と教職員研修を中心とした交流を進める。 					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合（小・中）		%	83	100	66 【C】	100
算式	実施小中学校数 / 市小中学校数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	学習意欲向上プロジェクト			83	100	66	-
	指標	大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合（小・中）	%				
2	ICT活用推進事業			14	15	26	-
	指標	ICTシステムを活用した研修会の実施回数（小・中）	回				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	学習意欲向上プロジェクト 【C】	<p>【成果】 学習意欲向上プロジェクトの「講師招聘」を活用し、大学から講師を招いた研修会を3中学校区で実施した。しかし、コロナウイルス感染拡大の影響で、すべての中学校区での実施には至らなかった。</p> <p>【課題と対策】 令和3年度は指標を変更して、中学校区各校への働きかけを細事業推進のための評価項目とする。 オンライン機器の活用を含め、積極的な実施を進める。</p>				
2	ICT活用推進事業 【A】	<p>【成果】 総合教育センター研修として2回、県立教育センターと連携した研修を1回実施した。</p> <p>【課題と対策】 施策7と重複するため、令和3年度は細事業として評価を行わない。</p>				

Action	今後の事務事業の方向性
<p>島外から大学や研究機関等から講師を招聘した研修会が実施できるよう、学習意欲向上プロジェクトを継続していく。令和3年度は、学習意欲向上の内容として大学との連携を促し、全13中学校区に進捗状況の確認を行う。また、新潟大学によるサテライト事業、サイエンスプロジェクトへの参加も促していく。</p>	

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	グローバル人材育成事業（市立学校等人材育成事業）					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	4 高等教育・研究機関等との連携の強化 【施策11 大学・大学生等との交流】					
事業概要	市立小・中学校、高等学校等が市内の人材や地域性を活かした教育活動によりキャリア発達を促進し、将来を担い、地域社会の発展に貢献する児童・生徒の育成を目的とした事業の経費を支援する。					
対象	児童、生徒					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・大学関係者や大学生等と市内小中学校、高等学校が交流する教育活動を奨励する。 ・市内高等学校と連携し、児童生徒の視察研修を支援する。 					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
大学・大学生等との交流を行った割合（小・中）		%	43	50	34 【C】	40
算式	大学・大学生等と交流した学校数 / 全小・中学校数					
海外研修支援の件数		件	0	1	- (中止)	1
算式	海外研修支援の件数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	大学・大学生等との交流（小・中学校）			15	18	12	-
	指標	大学・大学生等と交流した学校数	校				
2	佐渡地区高校生海外訪問			0	7	- (中止)	5
	指標	参加生徒数	人				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	大学・大学生等との交流（小・中学校） 【C】	【成果】 地域の伝統芸能体験や職場体験、地域学習の成果発表等で大学生との交流活動を実施した。大学生からの助言や称賛が、小中学生の意欲喚起につながり、また、地域性を活かしたネットワークを構築する教育活動を展開することができた。コロナ禍の中、感染防止のため実施を控えたことによる影響もあった。 【課題と対策】 目標と同じであるため、令和3年度は細事業として評価を行わない。校長会における大学との連携にかかわる情報提供を細事業として評価する。 リモート化等による人材育成のための研究・研修事業への活用を押し進めていく必要がある。

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	佐渡地区高校生海外訪問 【 - 】	<p>【成果】 佐渡地区高校生アメリカ海外研修を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、現地の交流予定先の高校が休校中であることと海外への渡航が困難であることから実施を見送った。</p> <p>【課題と対策】 新型コロナウイルス対策等で海外への訪問が難しくなる現状を踏まえ、現地訪問の有無、それに代わる文化交流などを考えていく。</p>

Action	今後の事務事業の方向性
	<p>視察研修の実施においては、今後、募集対象を小・中学生にも広げ、将来の地域社会を担う児童・生徒の育成を図る。</p> <p>また、視察研修が困難な場合は、オンライン等による文化交流などを推し進めていく。</p>

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	生涯学習事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策12 公民館の利用促進】					
事業概要	市民が趣味や教養を高める等、自己を充実することをはじめ、生活上の課題や地域課題を解決することができ、又、活動の継続かが図れるよう各種学習の機会を提供する。					
対象	市民					
意図（目標）	人と人との学び合いやふれあいを深め、それぞれの個性や能力を伸ばしながら一人一人の人生を充実させるとともに、地域の文化を高め、活力あるまちづくりと地域社会の形成や発展を目指す。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式		目標値	実績値		
生涯学習事業参加者		人	12,881	13,000	5,387	13,000
算式	生涯学習事業参加者数		【C】			

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	市民大学講座			403	500	522	600
	指標	市民大学講座受講者数	人				
2	高齢者学級			799	800	626	800
	指標	高齢者学級参加者数	人				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	市民大学講座 【A】	<p>【成果】 目標を上回る参加があり、当初の目的は達成したものとする。</p> <p>【課題と対策】 市民大学講座受講生へアンケートを実施し、受講生が学びたいと思う分野の内容を令和3年度市民大学講座へ反映させた。 しかし、アンケートにて受講者の要求課題への対応を行っている反面、佐渡市として進める必要のある必要課題（文化・芸術の振興や伝統芸能の後継者育成など）については対応できていない。 今後は佐渡市の必要課題の解決を図るため、関係団体と協力して効果的な講座の設置に取り組んでいく。</p>				
	2	高齢者学級 【C】	<p>【成果】 高齢者を対象に意欲的に学習の場に参加してもらい、仲間づくりや健康づくりに取り組みながら、生きがいを見つけてもらう場を提供できた。</p> <p>【課題と対策】 健康維持のためにも生きがいを持ち、仲間と楽しみにしてもらえよう、学習・見学・体験の場を増やしたい。</p>			

Action	今後の事務事業の方向性
	<p>生涯学習の理念に基づき、自らが学び、考え、課題を見つけ、豊かな人間性を育み、新しい知識を得ていくことが求められているため、今後も家庭教育、青少年教育、高齢者学級等様々な世代を対象にした講座の開催に取り組んでいく。</p> <p>また、各種事業内容についてはアンケート調査を実施し、参加者の要望を講座等に取り入れ、ニーズに沿った講座を開催するほか、佐渡市として取り組むべき文化や芸術を振興する講座を開講し、佐渡市の今日的課題解決に寄与する。</p> <p>さらに、事業の開催に当たっては、佐渡市子ども会連絡協議会をはじめ、各関連団体との連携も視野に入れて事業に取り組む。</p>

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	公民館活動推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策12 公民館の利用促進】					
事業概要	公民館講座を開催し、市民の学習意欲を高めるとともに、成果の発表の場として、各地区で芸能祭や文化祭を市民協働により開催する。					
対象	市民					
意図（目標）	交流・学習の機会を作り、市民の学習意欲を高めるとともに、地域や参加者の協働精神を醸成する。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
公民館利用者数		万人	17.1	18.0	10.3 【C】	18.0
算式	公民館利用者数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	事務事業を構成する主な細事業			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	登録自主講座			284	280	282	283
	指標	登録自主講座数	件				
2	公民館講座			24	24	26	22
	指標	公民館講座数	件				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	登録自主講座	【成果】 コロナ禍ではあったが、目標を上回ることができた。 【課題と対策】 新たな参加者を増やすため、曜日や時間帯・会場の変更を含め既存グループに声がけする。 また、公民館講座として3年経過したグループには自主講座として活動可能となるよう促す。				
	【A】					
2	公民館講座	【成果】 要望のあった講座を開設又は継続した。 コロナウイルス感染症感染拡大防止取組により中止とした回もあったが、参加できる場を提供した。 【課題と対策】 要望のある内容だけでなく、新たに体験し知ってもらう講座を実施する。また、芸術・文化に関する講座等を開催し、地区文化祭や地区芸能祭に出品・出演できるようにつなげていく。				
	【A】					

Action	今後の事務事業の方向性
<p>学級・講座の運営に関して、定着している講座については、自主講座への移行を薦めている。地域の特色や要望に沿った講座運営を行うため、人材バンクの講師等を活用できる講座内容の見直しを進め、子どもに特化した芸術・文化の講座等を開催し地区文化祭や地区芸能祭に出品・出演できるようにつなげていく。また、地区運動会、文化祭、芸能祭については、学習成果の発表の場や地域住民交流の重要な機会の場であるが、参加者も高齢化により減少傾向となり、運営にも支障をきたしていることから、実行委員会主導による事業展開を図る。</p> <p>地域が高齢化となる中、地域が持続可能な活動を行うための財政的支援は必要であり、活動団体への継続的な支援を行う。</p>	

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	スポーツ推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策13 スポーツの推進】					
事業概要	スポーツ推進審議会運営事業、スポーツ指導者講習会開催事業、スポーツ大会・教室等運営事業、スポーツ少年団支援事業等、市民のスポーツ推進のための企画、運営、指導、助言を行うとともに、スポーツ競技団体の育成、関係団体の組織体制強化を進める。					
対象	市民					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者までのさまざまなニーズに対応できるスポーツ環境の充実を図る。 スポーツを通じて世代間の交流を深め、市民相互の理解と連携・協力体制を築く。 スポーツに関する情報をいつでも手軽に入手・発信できるような情報提供の仕組みの充実を図る。 					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
体育施設利用者数		万人	45.6	51.1	32.0 【C】	51.1
算式	体育施設利用者数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	スポーツ教室等開催事業			1,936 (80回)	2,000 (80回)	539 (40回)	1,700 (80回)
	指標	参加者数（開催数）	人 (回)				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	スポーツ教室等開催事業 【C】	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できない教室等があったため、参加者数は目標値を大幅に下回る実績となった。</p> <p>【課題と対策】 Withコロナを踏まえ、ウォーキングや筋トレ・ストレッチなどの日頃スポーツをしていない人も気軽に始められる教室を開催するとともに、ライフステージに応じた教室を展開し、市民がスポーツに親しむ機会を提供する。</p>				

Action	今後の事務事業の方向性					
<p>成人のスポーツ実施率や子どもの体力の低下、高齢者の健康対策が指摘される中、年代に応じたスポーツ活動を行うきっかけをつくり、一層のスポーツ推進を図る必要があることから、佐渡市スポーツ推進委員協議会、（一財）佐渡市スポーツ協会、地区スポーツ協会と連携し、佐渡市スポーツ推進計画に基づき事業を展開する。また、情報提供の整備を図り、市内で開催されるスポーツ行事や指導者等の情報を広く提供し、市民がスポーツに親しむ機会を提供する。</p>						

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	読書推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 14 佐渡の人づくりを支える、地域の学びの拠点としての図書館運営】					
事業概要	図書館サービスの一環として、各種催しを行う。 ・ブックスタート事業・育児支援活動 ・子ども読書レベルアップ研修ほか各種事業実施 ・保育園、小学校、中学校、高校との連携（団体貸出他） ・図書館間相互貸借事業（県立図書館、新潟大学附属図書館、各公共図書館） ・幼児期から高齢者までを対象とした読書推進活動の実施					
対象	市民					
意図（目標）	・幼児期から高齢者まで本に親んでもらうために、おはなし会や読書週間に多彩な事業を展開する。また、図書館から遠い地域に移動図書館車を運行し、読書の推進を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
図書館・図書室の来館者数		万人	16.4	15.0	10.0 【C】	15.0
算式	図書館・図書室への延来館者数					

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	読書推進事業			352,736	358,000	361,469	361,000
	指標	蔵書冊数	冊				
2	図書館間相互貸借事業			1,576	1,500	1,197	1,500
	指標	市外図書館等からの借受冊数	冊				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	読書推進事業 【A】	<p>【成果】 令和2年度、佐渡市の図書館・図書室全体で新たに登録をした図書は、11,099冊（内購入は5,400冊）である。図書のみならず、雑誌・AV等の貸出等を行うことで、読書活動や個人の学習活動の支援に寄与している。</p> <p>【課題と対策】 蔵書冊数が増え、利用者に提供できる資料の冊数も種類も増加してきている一方で、書架が手狭となってきており、書庫も満杯となってきている。また令和2年度の除籍冊数は3,759冊であり、古い本が目立つような状況となっており、受入れ冊数と同程度の冊数を除籍するなど、適切な除架・除籍に努め、蔵書の維持を図りたい。読書意欲を喚起し、市民の学習ニーズに寄与できるよう、資料の充実に努めたい。</p> <p>また個人貸出が減少する中で、小学校や施設への貸出ニーズが相対的に高まってきている。それに応じた蔵書の構築に努めたい。</p>				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	図書館間相互貸借事業 【C】	<p>【成果】</p> <p>コロナ禍により県内および県外の図書館が休館した影響で、令和2年度は実績値(借受冊数)が減少したものの、県内外の図書館等と連携し、利用者の求めに応じ資料を提供することができた。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>佐渡市以外の図書館等の図書が利用できることを利用者へ案内し利用の促進に努めるとともに、公共図書館のみならず、大学図書館等と連携し、利用者の求める本をしっかりと提供できるよう情報収集や職員のスキルアップに努めたい。</p>

Action	今後の事務事業の方向性
	<p>コロナ禍により、図書館・図書室も長期休館およびイベントの中止、利用の制限が必要となり、上期(令和2年4月～9月)の利用者数・来館者数は大幅に減少した。その中でも、学校や施設への貸出を心待ちにしてくださっている方も多く、公立図書館の役割を再認識できた年でもあった。引き続き、良書の充実や、適正な蔵書の維持、WEBサービス・相互貸借の周知に努めるとともに、昨年度は十分に実施できなかったイベントについても、感染拡大防止に留意して、安心安全の図書館サービスを実施したい。</p>

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	博物館・資料館管理運営事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	佐渡の歴史・文化・自然の調査研究と普及啓発活動を円滑に進める。					
対象	市民、国内外の観光客等					
意図（目標）	来館者に佐渡の歴史・文化・自然に対する理解を深めてもらう。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
博物館・資料館及び類似する文化施設に入館した人数		人	52,347	57,800	30,136 【C】	57,800
算式	入館した人数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	佐渡博物館特別展事業			5,887	6,600	5,097	6,600
	指標	特別展開催期間中入館者数	人				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	佐渡博物館特別展事業 【C】	<p>【成果】</p> <p>令和2年度は以下の特別展や企画展等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別写真展「宮本常一写真で読む佐渡 「道」」 開催期間：令和2年4月1日～令和2年5月31日 ・企画展「ちいさな化石たち」 開催期間：令和2年7月13日～令和2年8月31日 ・特別展「佐渡ゆかりの書」（第1回） 開催期間：令和2年7月20日～令和2年11月3日 ・イベント「さどはくまつり・佐渡工芸展」 開催期間：令和2年11月3日～令和2年11月10日 ・企画展「本間嘉晴・フヂ工遺作展」 開催期間：令和2年11月7日～令和2年12月23日 ・特別展「佐渡ゆかりの書」（第2回） 開催期間：令和3年1月4日～令和3年2月16日 ・企画展「ひな人形からみる佐渡の人形展」 開催期間：令和3年2月23日～令和3年3月23日 ・企画展「佐渡島大化石展」 開催期間：令和3年3月27日～令和3年5月30日 ・ホール展「真野中学校生徒制作の燈籠展覧会」 開催期間：令和2年11月4日～令和2年12月16日 ・クリスマスリース作りワークショップ 開催期間：令和2年12月12日 				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
		<p>コロナ禍の中で博物館施設全体での入館者数が目標値比マイナス47%であったのに対し、佐渡博物館での特別展等開催期間中の入館者数は目標値比マイナス22%であった。佐渡観光入込客数の落ち込みの影響を受けつつも、一年を通してコロナ対策を講じながら特別展や企画展、さどはくまつりやワークショップを開催したことで、島民の来館が増加した。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>入館者数の増加を図るには、特別展等を多数開催していくことが必要であるが、特別展の企画には専門知識が備わった学芸員が必要であることから、人材確保や専門職員の育成に努める必要がある。</p> <p>令和2年度に実施した「さどはくまつり」では子ども向けのワークショップが好評で、多数の親子連れの来館があったため、子どもをターゲットにした企画を展開することにより、入館者数の増加に結び付ける。</p>

Action	今後の事務事業の方向性
	<p>特別展や企画展の開催や常設展示の展示替え等で博物館に目新しさを加えるほか、子ども向けワークショップ等の体験講座の展開、小中学校への出前授業で郷土の魅力を発見する機会を子どもたちに提供することで、博物館の認知度を向上させ、島民の入館者数を増加させる。</p> <p>そのほか、小学生を対象に「ジュニア学芸員育成事業」をスタートし、学芸員という仕事の体験を通して、子どもたち自らが主体的に目標を掲げ、課題を見つけ、解決する力を育成する学びの場を提供する。取り組みについては、専門的な見地から自然と人の共生をテーマにした人材育成（新潟ジュニアドクター育成塾）を展開する新潟大学との連携を図りながら、効果的に実施していく。</p>

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	世界遺産推進課			
事務事業名	世界遺産登録推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	・佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を活用した普及啓発事業 ・市民参加型の各種普及啓発事業（講演会、出前授業・出前講座など）					
対象	市民					
意図（目標）	市民の郷土への誇りや文化財保護意識の強化につなげるとともに、世界遺産登録に向けた市民意識の醸成を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業への参加者数		人	387	300	323 【A】	320
算式	参加者数					
世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等の件数		件	22	30	43 【A】	30
算式	件数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業			387	300	323	320
	指標	参加者数	人				
2	世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等			22	30	43	30
	指標	件数	件				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業 【A】	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した事業があったが、下半期は感染症予防対策を講じた上で普及啓発事業を実施し、佐渡金銀山への興味や関心を高め、更に理解を深めることができた。 特に、親子世代向けの事業（体験学習、読み聞かせ）には、新規参加の方が多数集まり、これまでとは違った支援層の獲得につながった。</p> <p>【課題と対策】 きらりうむ佐渡展示室の観覧者数の増加につなげるため、市民が気軽に参加できる普及啓発事業を企画するとともに、展示内容の工夫に取り組む。</p>

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	世界遺産を目指す 佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等 【A】	<p>【成果】 佐渡金銀山への興味や関心を高め、更に理解を深めることができた。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたが、市内小・中学生の出前授業の利用実績が伸びたことは大きな成果であった。</p> <p>【課題と対策】 講演会等への参加者の顔ぶれが同じことが多いため、募集方法を見直し幅広い世代の市民が参加できるよう工夫する。出前授業を利用していない学校があるため、校長会などの場を利用し、積極的に働きかけていく。</p>

A c t i o n	今後の事務事業の方向性
	2022年の世界遺産登録を目指すとともに、若年層への教育活動や幅広い世代・地域への情報発信などに取り組み、市民が佐渡金銀山の魅力と価値を知る機会を提供する。

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	ジオパーク推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等啓発普及運営事業 ・市民講座・親子体験 ・地域説明会・サイト保全 ・推進協議会運営事業（構想、方向性、実施計画等の策定） ・講演会・シンポジウム・出前授業等 ・ジオパークガイド養成事業 ・調査研究事業 					
対象	市民、教育旅行等の学生、国内外の観光客等					
意図（目標）	島に残る貴重な地質遺産などを市民講座や学校・PTA行事等で周知し、住民同士や観光客との交流を通して理解してもらい、ジオパーク学習の推進や郷土愛の醸成を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
ジオパーク推進事業に携わった人数		人	5,367	5,000	3,935 【C】	5,000
算式	人数					

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	市民等啓発普及運営事業			1,173	2,000	593	2,000
	指標	市民講座や地域説明会に参加した人数	人				
2	講演会・シンポジウム・出前授業等			2,497	2,000	2,744	2,000
	指標	講演会やシンポジウムに参加した人数	人				
3	ジオパークガイド養成事業			107	100	129	100
	指標	ガイドの養成・研修会に参加した人数	人				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	市民等啓発普及運営事業 【C】	<p>【成果】</p> <p>市民講座では、世界遺産推進課や農業政策課の職員も講師に招き、世界遺産、ジラスと連携した内容を取り込んで開催した。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部のコースが開催できなかった。</p> <p>地域における学習会も新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できないため、新たにCNSテレビの番組制作やSNSの開設などに取組み、市民への普及啓発に努めた。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>コロナ禍においても開催できるよう講座の内容や方法を見直し、安心して市民が参加できるよう工夫する。</p>				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	講演会・シンポジウム・出前授業等 【A】	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会等は開催できなかったが、夏頃から市内小中学校からの出前授業の依頼が増え、ジオパークを通して佐渡の魅力を伝える教育活動を充実させることができた。</p> <p>【課題と対策】 出前授業については、校長会や理科主任会などの場を活用して、未実施の学校にも積極的に働きかけ、担当教諭と共に生徒の地学的な興味・関心を高める。</p>
3	ジオパークガイド養成事業 【A】	<p>【成果】 ガイド案内の依頼件数が減少したが、その分の時間を利用して、今後を見据えた島内外からの子どもの教育旅行や民泊事業でのジオパーク学習のガイド案内研修会などを数多く開催した。</p> <p>【課題と対策】 ガイドの高齢化や担い手不足が課題である。ガイドの養成の仕組みを見直し、ガイドの質を担保しながら若いガイドを増やせるよう工夫する。</p>

Action	今後の事務事業の方向性
	<p>平成29年度に日本ジオパークの条件付き再認定（通称：イエローカード）となっていたが、令和元年10月に現地審査が行われ、前回指摘された全項目において一定の改善が確認されたため、再認定（通称：グリーンカード）となった。</p> <p>しかし、再審査で新たに与えられた課題7項目と、前回からの継続課題の2項目の計9項目について、佐渡ジオパーク推進協議会を推進母体として、「第2次佐渡ジオパーク基本計画及び改訂版アクションプラン」に基づき、3年後（令和5年度）の再認定審査までに改善に向けた取組みを進める。</p> <p>市民講座、ガイド養成、住民・企業等の協働によるさまざまな活動を通して、ジオパークの楽しさを伝え、学習の推進や郷土愛の醸成を図る。</p> <p>島に残る貴重な地質資源などのジオサイトを、保護保全活動と併せ、教育や観光資源として活用する他、現在市が取り組んでいる世界文化遺産、世界農業遺産、ジオパークの関わりを包括した総合解説本（仮称）を作成する。</p> <p>佐渡観光交流機構と連携し、ジオパーク学習を取り入れた教育旅行や民泊事業の誘致を図る。</p>

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	世界遺産推進課			
事務事業名	埋蔵文化財調査保存事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	埋蔵文化財である遺跡・出土遺物等を適切に調査・保存・管理することに併せ、その活用を図る。					
対象	各種遺跡					
意図（目標）	遺跡・出土遺物等の適切な調査・保存・管理及び活用を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
埋蔵文化財出前授業の件数		件	13	13	2 【C】	10
算式	実施件数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	小・中学校への出前授業実施事業			13	13	2	10
	指標	実施件数	件				
2	新穂銀山跡国史跡追加指定事業			24	100	344	10
	指標	国指定への追加指定にかかる同意数	件				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	小・中学校への出前授業実施事業 【C】	<p>【成果】 実施学校の小学生は出前授業の内容に興味を示し、意欲的に参加してくれたが、新型コロナウイルスの影響により、目標校数を達成できなかった。</p> <p>【課題と対策】 新型コロナウイルス対策の徹底、かつ学校への啓発を図る方策、指導者の育成及び確保が課題である。</p>				
2	新穂銀山跡国史跡追加指定事業 【A】	<p>【成果】 同意取得目標数を100%以上達成した。</p> <p>【課題と対策】 同意取得の対象者へは郵便での通知を増やすなど定期的に連絡を執ると共に、直接訪問するなど、同意取得のための積極的な対策を講じる。</p>				

Action	今後の事務事業の方向性				
遺跡の適切な調査と出土遺物の保存・管理を図ると共に、出土遺物の展示や関連する講演会と小・中学校への出前授業や体験学習などの活用事業を通し、市民の文化財保護意識の醸成に向けた取組を進める。					

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	世界遺産推進課			
事務事業名	有形文化財保存活用事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	市内文化財のうち、有形文化財の適切な保護・保存及び活用を図るため、現況調査、修理等を実施する。					
対象	有形の指定文化財					
意図（目標）	有形の指定文化財を保護し、後世に残すとともに、その貴重な文化財の活用を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
指定文化財助成事業		件	14	13	15 【A】	5
算式	助成件数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	指定文化財助成事業			14	13	15	5
	指標	助成件数	件				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	指定文化財助成事業 【A】	<p>【成果】 緊急性の高いものから順次継続して修理費用を助成することにより、経年変化した文化財を保存することができた。</p> <p>【課題と対策】 社会環境の変化により、所有者と行政の力だけでは文化財を保存し、伝承することが困難になっている。</p>				

Action	今後の事務事業の方向性					
有形の指定文化財の修理等については、所有者等が適切に実施することが必要であることを改めて所有者等に周知するとともに、市としてもその活動を支援するため、引き続き助成事業を継続する。						

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	芸術事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 16 文化・芸術の振興】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のさらなる創作意欲の喚起を図り、芸術、文化の振興に寄与するため、市展を開催する。 ・入間市写真連盟との交流により写真作品の相互展示を行った。 ・佐渡の伝統ある版画を全国に普及するため、全国の高校生が集う「はんが甲子園大会」の支援を行う。 					
対象	市民、高校生等					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが芸術、文化に親しみ、文化活動に参加し担い手となるよう、さまざまな文化事業等を充実させる。 ・個人や団体が、連携、交流、協力できるよう、活動の場や機会の拡充に努める。 					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
市展出品点数		点	1,025	1,350	-	1,350
算式	出品点数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	市展運営事業			2,521	3,500	-	3,500
	指標	入場者数（会期入場者数）	人				
2	市展出品数増加（一般の部）			227	300	-	300
	指標	一般の部出品数	品				
3	市展出品数増加（ジュニアの部）			978	1,050	-	1,050
	指標	ジュニアの部出品数	品				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	市展運営事業 【 - 】	<p>【成果】 第17回市展は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</p> <p>【課題と対策】 令和2年の市展が中止となったことから、芸術文化へ関心の低下が懸念される。 市民の創作意欲の喚起及び芸術文化の振興を図るためにも新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた市展の開催方法を検討する。市展開催を広く周知し、出品者の方々のモチベーションの低下を防ぐほか、令和2年に作成した作品も出品可能とするなど出品しやすい仕組みづくりが必要である。さらに、出品数の減少を防ぐために地区公民館講座参加者、地区文化祭等に出品した方などにも声をかけ、出品を促すこととする。</p>

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	市展出品数増加（一般の部） 【 - 】	<p>【成果】 第17回市展は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</p> <p>【課題と対策】 令和2年の市展が中止となったことから出品者の方々のモチベーションの低下が懸念され、市展の出品作品数の減少が課題となると考えられる。 市展開催を広く周知し、今までに出品していただいていた方に引き続き出品していただくほか、新規の出品者開拓に向け、地区公民館講座参加者、地区文化祭出品者にも出品を促していく。</p>
3	市展出品数増加（ジュニアの部） 【 - 】	<p>【成果】 第17回市展は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</p> <p>【課題と対策】 ジュニア部門は特に出品点数の減少が著しく、出品数の減少を食い止めるべく対策を講じることが課題となっている。 令和3年度の市展においては、令和2年度に作成した作品も出品可能とするなど、出品しやすい仕組みづくりを検討する。</p>

Action	今後の事務事業の方向性
	<p>減少傾向にある市展の出品点数を維持するため、公民館講座等を活用し創作活動の機会を設け、出品しやすい仕組みづくりについて実行委員会で検討する。特に第18回市展は第17回市展が中止となったことから出品者のモチベーション低下が考えられ、その対策として案内や周知の仕組みについても検討を行う。</p> <p>さらに令和3年度市展については新型コロナウイルス感染症が強く意識される展覧会となることが想定されるため、感染症対策を十分に行ったうえで、出品者、来館者の負担とならないよう事業を行う。</p>

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	青少年育成活動事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策 17 家庭や地域の教育力向上のための取組】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う青少年が夢と希望をもって自立と自己実現を図れるよう、市民と行政機関が協働して育成していく環境づくりを進める。 ・市内 13 地区の青少年健全育成協議会の活動及び地域子ども会連絡協議会の活動を支援し、青少年の健全育成を図る。 					
対象	青少年					
意図（目標）	青少年の健全な育成を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
青少年健全育成事業参加者数		件	12,907	14,000	7,580 【C】	14,000
算式	青少年健全育成事業参加者数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	青少年健全育成組織支援事業			5,976	6,500	3,877	6,500
	指標	青少年健全育成協議会活動参加人数	人				
2	地域子ども会連絡協議会活動事業			6,931	7,500	3,703	7,500
	指標	地域子ども会連絡協議会活動参加人数	人				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	青少年健全育成組織支援事業 【C】	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響で、各活動への参加人数は目標を大きく下回ったが、各地区で海岸清掃や料理作り等の体験・交流イベントを行い、青少年の健全育成に努めた。</p> <p>【課題と対策】 各協議会で活動内容や他地区との協力体制にバラつきがある。市民会議等により意見交換をしながら各地区の連携を図り、活動をより活発にし、青少年の健全育成のため事業を行う。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となった。令和3年度は感染症対策を踏まえた開催方法を検討する必要がある。</p>				
	2	地域子ども会連絡協議会活動事業 【C】	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響で、各活動への参加人数は目標を大きく下回ったが、各地区の地域行事に参加し、地区の現状に応じた活動を通して、地域のふれあい、地域を知る機会となった。 また、子どもたちが主体で活動をすることで、協調性を育み、青少年の健全育成に努めた。</p> <p>【課題と対策】 地区の現状等により、各子ども会で活動状況や回数に差がある。地域で実施される事業の継続、子どもたちが参加しやすい新規事業の取組数が増加するよう周知する。</p>			

Action	今後の事務事業の方向性
<p>スマートフォンやインターネットの普及により、子どもたちを取り巻く環境は複雑となっている。子どもたちが様々な人と関わり合いながら、豊かな人間性や判断力を身に付け、健全な心と体を養い、生きる力を付けて行くことが重要である。そのために地域と各団体等が連携しながら今後も積極的に事業を進めていく。</p> <p>なお、各組織の在り方や推進体制を改めて検証し、より良い組織の運営方法を検討していく。</p>	

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課・社会教育課			
事務事業名	学校教育振興事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策17 家庭や地域の教育力向上のための取組】					
事業概要	・家庭教育の啓発活動を推進する。 ・コミュニティ・スクール設置に向けて準備を進める。					
対象	教職員、児童、生徒、保護者					
意図（目標）	・児童生徒の健全育成と学習習慣の確立を目指し、PTAや公民館等において家庭教育の啓発活動を推進する。 ・「地域学校協働活動」や「放課後子ども教室」事業を拡充させるとともに「コミュニティ・スクール」の設置を目指す。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
PTA等で家庭教育啓発活動を実施している割合（小・中）		%	83	100	74 【C】	100
算式	実施校数 / 市内小中学校数					
コミュニティ・スクールの設置数（小・中）		校	14	35	35 【A】	35
算式	設置数					

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	コミュニティ・スクール実施予定校への説明会			14	35	35	-
	指標	説明会実施校数	校				
2	コミュニティ・スクール周知に向けての研修会			3	3	3	2
	指標	研修会数	回				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	コミュニティ・スクール実施予定校への説明会 【A】	【成果】 コミュニティ・スクール実施校が35校すべてになった。 【課題と対策】 すべての学校でコミュニティ・スクールが実施されたので、令和3年度は細事業として評価を行わない。今後、実施校に向けて、協議会の運営等支援を細事業として評価をする。				
2	コミュニティ・スクール周知に向けての研修会 【A】	【成果】 研修会の実施によりコミュニティ・スクールへの理解を進めることができた。 【課題と対策】 学校運営協議会の円滑な推進のため、今後、地域コーディネーターやCSディレクター向けの研修会を実施していく。				

Action	今後の事務事業の方向性				
全小中学校がコミュニティ・スクールとして充実した活動に取り組めるように研修等を実施し、支援訪問も行う。 また、各校へPTA指導者研修会の参加を促し、全35校の参加を目標値とする。					

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	学校・家庭・地域の連携促進事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策17 家庭や地域の教育力向上のための取組】					
事業概要	各小中学校に配置された地域コーディネーターを中心に、地域の人材を活用して子どもたちの学習を支援するなど、地域と学校の連携・協働を推進する。また、地域人材で構成される家庭教育支援チームと連携し、家庭教育に関する相談対応や親子体験活動を実施し、すべての保護者が安心して家庭教育を行える環境を整える。					
対象	児童、生徒、学校、地域、保護者					
意図（目標）	「地域学校協働活動」や「放課後子ども教室」事業を拡充させる。					
事務事業の目標（成果）指標						
算式	指標の算式	単位	元年度 実績値	2年度（評価年度） 目標値 実績値		3年度 目標値
	地域コーディネーターを活用し、地域との連携・協働を図っている学校（小・中）	% （校）	85 （30）	100 （35）	97 【B】 （34）	100 （35）
算式	実施校数 / 市内小中学校数					
	学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施している学校（小・中）	% （校）	40 （14）	100 （35）	97 【B】 （34）	100 （35）
算式	実施校数 / 市内小中学校数					
	放課後子ども教室を実施している学校（小）	% （校）	18 （4）	22 （5）	18 【B】 （4）	45 （10）
算式	実施校数 / 市内小学校数					

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度） 目標値 実績値		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位				
1	放課後子ども教室参加事業（子ども）			1,542	1,600	225	1,600
	指標	参加した子どもの人数	人				
2	放課後子ども教室参画事業（地域住民）			472	550	86	550
	指標	参画した地域住民の人数	人				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	放課後子ども教室参加事業（子ども） 【C】	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動回数が減少し参加した子どもの人数も減った。</p> <p>【課題と対策】 子どもの参加人数を増やすため、活動環境を整えたり、アンケート結果から子どもたちが希望する活動内容組み込んだり、充実した活動となるよう実施する。</p>				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	放課後子ども教室参画事業（地域住民） 【C】	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動回数が減少し参画した人数も減ったが、子どもたちが充実した活動を行えるような環境を整備した。また、広報を活用し支援員の協力を募った。</p> <p>【課題と対策】 幅広い地域住民の参画を得るために、各教室での活動内容や事業内容を広く周知し、理解を図る。また、今後も学校と地域と連携し、活動を行う。</p>

Action	今後の事務事業の方向性
	<p>地域と学校をつなぐ地域コーディネーターが、様々な知識や経験をもつ地域の人材や団体等を活用し、地域の特色を生かした活動や学校行事の補助、学習補助等の支援を行う。地域と連携・協働することで、地域の教育力の向上を図り、子ども達の社会性の向上や社会を生き抜く力を育む。</p> <p>家庭教育支援については、気軽に相談ができる環境、家庭教育に係る学習機会や親子で楽しく活動できる機会を提供する。また、子ども若者相談センター等、関係機関と連携を図り、相談内容に応じた支援を行えるよう体制を整える。</p> <p>行政として、学校運営協議会へ事業の拡大や協力要請を行い、活動を推進する。また、学校の地域連携担当教員や地域コーディネーター、家庭教育支援員の研修会等を実施し情報共有の機会を設け、学校への支援を継続して行う。</p>

令和3年度（令和2年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	児童援助事業・生徒援助事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策 18 虐待や貧困から子どもを守るための関係機関との連携強化】					
事業概要	経済的に困窮している児童生徒の保護者に学用品費や学校給食費、修学旅行費等の援助を行う。					
対象	児童、生徒の保護者					
意図（目標）	就学援助が必要とされる家庭すべてに行き届くよう努める。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
幼児児童生徒の現状把握のため、関係機関と連携している割合（幼保・小・中）		%	100	100	100 【A】	100
算式	関係機関と連携している割合					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			元年度 実績値	2年度（評価年度）		3年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	要保護・準要保護児童生徒援助事業			97	100	97	100
	指標	申請書の回収率	%				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	要保護・準要保護児童生徒援助事業 【B】	<p>【成果】 児童・生徒が家庭の経済事情に関係なく、通常の学校生活を送ることができ、義務教育段階での教育機会の平等化につながった。</p> <p>【課題と対策】 児童・生徒数は減少傾向であるが、認定者数は横ばいとなっているため、継続的な支援が必要である。 制度を周知徹底するために、保護者の申請書の回収率を上げていく。</p>				

Action	今後の事務事業の方向性				
平成17年から就学援助制度の認定基準や給付内容は、国レベルでの一律の基準は設けられておらず、就学援助制度の運用は自治体の裁量に委ねられている。国や他の自治体の動向を常に注視し、国の方針や近隣市町村の事例を参考にしながら運用していく。					

評価

施策実施上注目すべき数値の一覧

基本目標	施策	指標	H30 数値	R1 数値	R2 目標値	R2 数値	R6 目標値
1	1	全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との差（小・中）【%】	小-0.1 中-1.5	小+0.3 中-2.4	小+0.5 中±0	- (中止)	小+2 中±0
		標準学力検査NRTで偏差値50以上の教科の割合（小・中）【%】	90	小100 中47	小90 中60	小84 中62	95
	2	すべての学級で道徳の授業を公開している割合（小・中）【%】	86	100	100	100	100
		人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合（小・中）【%】	100	100	100	86	100
	3	学校給食における地産地消の献立の実施状況（小・中）【%】	24.0	22	30	20	30
	4	基準に基づく介助員の配置割合（小・中）【%】	77	100	100	100	100
		「個別の教育支援計画」を作成・活用している割合（小・中）【%】	100	100	100	100	100
5	保育園・幼稚園との教育活動の交流を行っている割合（保幼・小）【%】	100	100	100	73	100	
2	6	課題解決学習を取り入れた職場体験活動を実施している割合（中）【%】	77	100	100	100	100
		「みらい'sノート」を活用したキャリア教育を実施している割合（小）【%】	100	91	100	100	100
	7	小・中の英語教育の円滑な接続のための研修や交流を実施している割合（小・中）【%】	86	100	100	100	100
		ICTの効果的な活用に関する授業研修を行っている割合（小・中）【%】	5	54	100	74	100
3	8	通学路点検の実施割合（小・中）【%】	100	100	100	100	100
		防災教育の実施割合（小・中）【%】	89	89	100	100	100
	9	いじめの解消率（小・中）【%】	84	88	100	94	100
		不登校児童生徒の割合（小・中）【%】	小0.97 中5.79	小0.74 中4.78	小0.70 中3.65	小0.98 中4.45	小0.70 中3.65
4	10	大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合（小・中）【%】	60	83	100	66	80
	11	大学・大学生等との交流を行った割合（小・中）【%】	43	43	50	34	60

基本 目標	施策	指標	H30 数値	R1 数値	R2 目標値	R2 数値	R6 目標値
5	12	公民館利用者数 【万人】	18.0	17.1	18.0	10.3	18.0
	13	体育施設利用者数 【万人】	51.1	45.6	51.1	32.0	51.1
	14	図書館・図書室の来館者数 【万人】	14.9	16.4	15.0	10.0	15.5
	15	博物館・資料館及び類似する文化施設に入館した人数 【人】	53,814	52,347	57,800	30,136	66,000
		佐渡金銀山ガイド施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業への参加者数【人】	-	387	300	323	500
		世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等の件数 【件】	76	22	30	43	90
		ジオパーク推進事業に携わった人数 【人】	4,328	5,367	5,000	3,935	5,000
	埋蔵文化財出前授業の件数 【件】	6	13	13	2	14	
16	市展出品点数 【点】	1,328	1,205	1,350	(中止)	1,300	
6	17	P T A等で家庭教育啓発活動を実施している割合（小・中） 【％】	86	83	100	74	100
		地域コーディネーターを活用し、地域との連携・協働を図っている学校（小・中）【％・校】	77 27校	85 30校	100 35校	97 34校	100 35校
		学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施している学校（小・中） 【％・校】	3 1校	40 14校	100 35校	97 34校	100 35校
	18	幼児児童生徒の現状把握のため、関係機関と連携している割合（幼保・小・中） 【％】	100	100	100	100	100

3 総評

令和2年度に執行された佐渡市教育委員会の所管事業の事業内容及び内部評価について、事務点検評価者として次のとおり総評する。

- (1)「Plan」の事務事業の目標(成果)指標と「Do」の目標(成果)指標が重複する箇所がある。次年度に向けて目標(成果)指標の検討と吟味をお願いしたい。
- (2)今回はC評価が多かったが、コロナ禍で事業の中止や縮小があり致し方ない。例年との比較は難しいが、それぞれの分野で取組の成果は認められる。人口減や予算の確保が難しい中ではあるが、事業の集中や縮減を検討して、市民にとって有意義な事業を今後も進めてもらいたい。
- (3)佐渡市として、社会教育は何に力を入れているのかを明確にし、その評価ができるようにしてもらいたい。

【項目別の主な評価、意見】

(1) 特別支援教育推進事業

介助員の配置事業について、児童生徒本人や保護者の満足度や意見を取り入れて事業に取り組んでももらいたい。

(2) 総合学習支援事業

キャリア教育を中核に据えた取組は重要な視点であり評価できる。「佐渡学」のテーマに世界遺産、ジオパーク、ジ阿斯を選定し社会教育と連携を強化してもらいたい。

(3) IT設備整備事業

IT機器の整備は完了したので、今後はその有効活用に向けて予算と人材の確保に努め、児童生徒のスキルアップを目指してもらいたい。

(4) 心の教育支援事業

「心の健康チェック」の活用に学校間格差が生じる問題点を調査し、マンネリ化に問題があるのか、分析に時間がかかりすぎるのがネックなのか等、学校ごとに状況を把握し支援する必要がある。

(5) 生涯学習事業・公民館活動推進事業

佐渡市として進める必要がある伝統文化や芸術振興などの伝承や担い手の育成に力を入れた講座を設定する必要がある。また、他の機関や団体の活動を見据え、公民館にふさわしい活動に力を入れてもらいたい。

(6) スポーツ推進事業

他の機関や団体の活動を見据え、市民にふさわしいスポーツ活動の普及に力を入れてもらいたい。

ジュニアのスポーツが盛んになってきているので、指導者の育成にも計画的に取り組んでもらいたい。

(7) 博物館・資料館管理運営事業

新たな取組として行う「ジュニア学芸員育成事業」に大いに期待する。他の事業や関係機関との連携を図りながら進めてもらいたい。

(8) ジオパーク推進事業

佐渡市の産業や市民生活と関連付けたジオパーク活動を推進してもらいたい。

(9) 芸術事業

市展の出品者の高齢化や固定化が進んでいると感じる。若返りや芸術分野の拡大、指導者の発掘などを行い、愛好者の拡大を図ってもらいたい。

(10) 青少年育成活動事業

今日青少年の何が課題であり、それを解決解消するにはどう計画的に展開するのかを明らかにして、自己評価してはどうか。

(11) 児童援助事業・生徒援助事業

今日的課題である家庭の経済問題に真摯に取り組み、成果を上げていることに敬意を表す。今後も情報提供や実態把握に努めて、児童生徒の学業に支障がでないよう取り組んでもらいたい。